

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学 I	学年	第1学年	類型	
単位数	3単位	教科書	新課程 新編 数学 I（数研出版）				
補助教材	新課程 Study-Upノート 数学 I + A（数研出版）						

学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てるようにします。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 数と式	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにします。また、式を多面的にみたり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	5月	第1節 式の計算		
	6月	第2節 実数		
	7月	第3節 1次不等式	第2章 集合と命題	集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにします。
2 学期	8月	第3章 2次関数	2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	9月	第1節 2次関数とグラフ		
	10月	第2節 2次関数の値の変化		
	11月	第3節 2次方程式と2次不等式	第4章 図形と計量	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用できるようにします。
12月	第1節 三角比			
3 学期	1月	第5章 データの分析	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにします。	学年末考査
	2月			
	3月	演習		

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。		